

看護学生が感じる大学生生活に おける挫折感とその解決策



コードNo. 1401

目的



- 看護学生は実習やテストなど多忙な日々を送っている。自身の経験でも実習やテストといった場面で挫折を感じるがあった。
- 大学生の約70%が入学前に描いていたイメージと現実の学生生活との間にギャップを感じていることが知られている。看護職を目指すということは、これまで経験してきた学生生活とは異なった学生生活を送ることになる。



- ・看護学部4年生を対象に学生生活における挫折感とその解決方法を明らかにする
- ・今後挫折を感じるであろう後輩にとって解決の参考になることを願う

研究方法

対象者 A大学看護学部看護学科4年生115名

調査期間 令和2年7月27日～8月12日

調査方法 Googleフォームにて無記名でのアンケート

調査内容

性別、クラブ活動の有無、実家暮らしか一人暮らしか、アルバイトの有無、身近に医療従事者はいるか、自身で思うメンタルの強さ、気持ちの切り替えの上手・下手、挫折経験の有無、挫折の自覚、挫折回数、挫折場面、解決方法



分析方法

集計したデータはExcelを用い、単純集計及びクロス集計で分析

倫理的配慮

本研究の対象者に対して研究への参加は任意であり、参加しない場合にも不利益は生じないこと、アンケートの回答により了承を得ること、データは個人が特定されないように配慮する主旨をGoogleフォームにて説明した。また、研究終了後にはGoogleフォームは削除し、紙媒体によるデータはシュレッダーにて破棄し情報流出を防ぐ。

結果①

- 回収率 40名 (34.8%)
- 挫折経験の有無
「ある」33名 (82.5%)、「ない」7名 (17.5%)
- 自身で思うメンタルの強さ(図1)
- 気持ちの切り替えが上手と回答した人のメンタルの強さ(図2)
- 気持ちの切り替えが下手と回答した人のメンタルの強さ(図3)

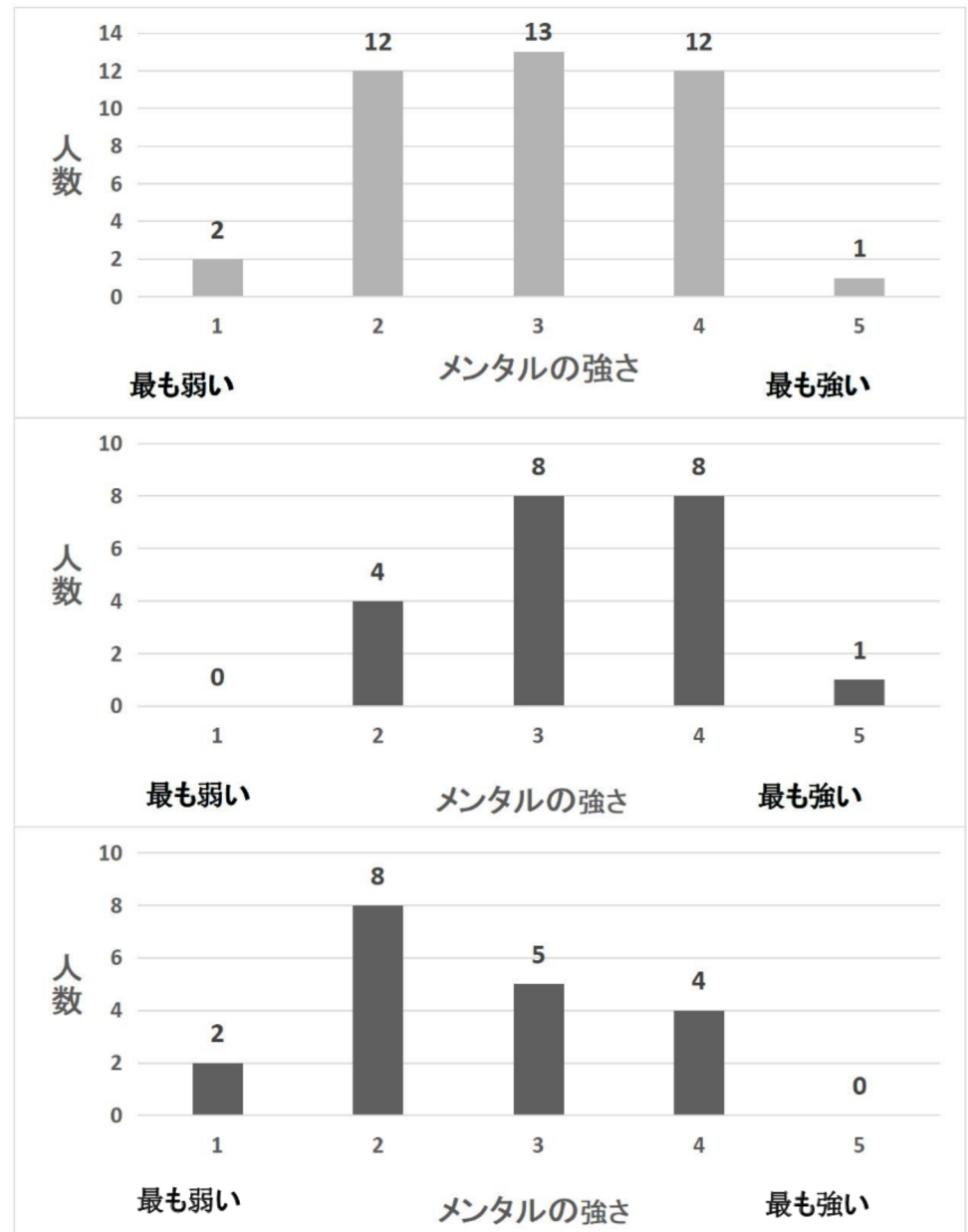


図1

図2

図3

結果②



• 挫折の自覚(図4)

一位:自分は看護に向いてないと感じた

二位:大変だと感じた

• 挫折場面(図5)

一位:実習

二位:テスト

• 解決方法(図6)

一位:相談(看護学生、医療従事者)、
自身で工夫

二位:相談(親、先生)

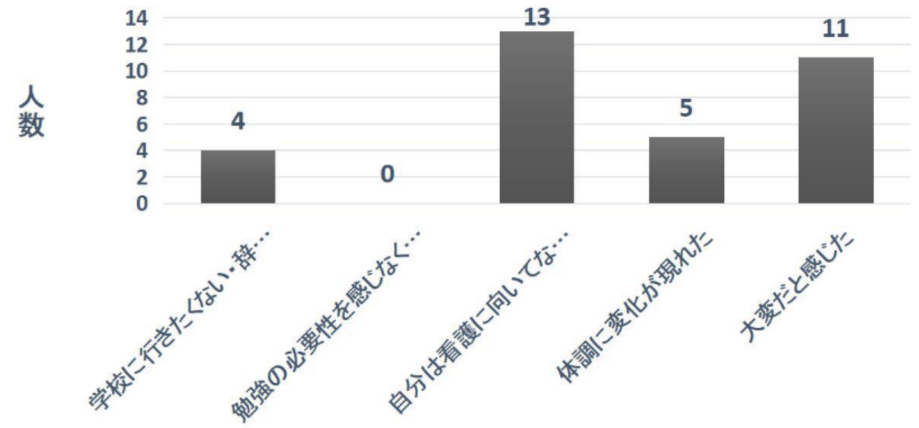


図4

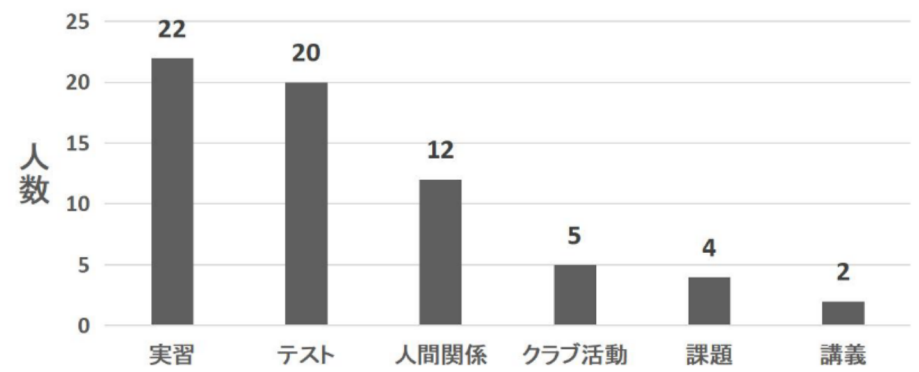


図5

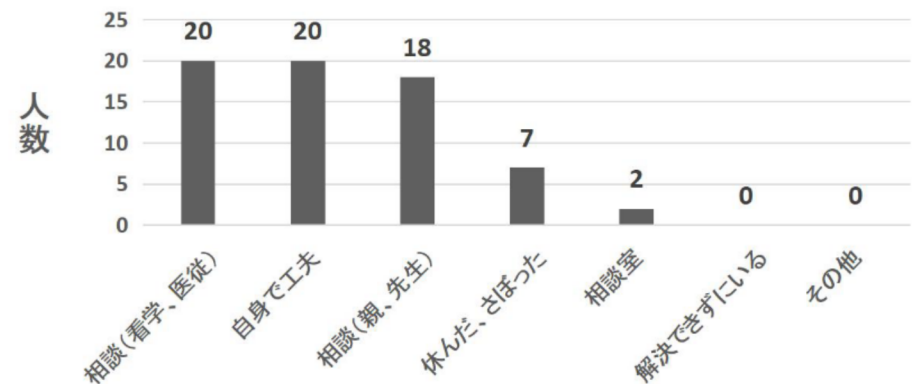
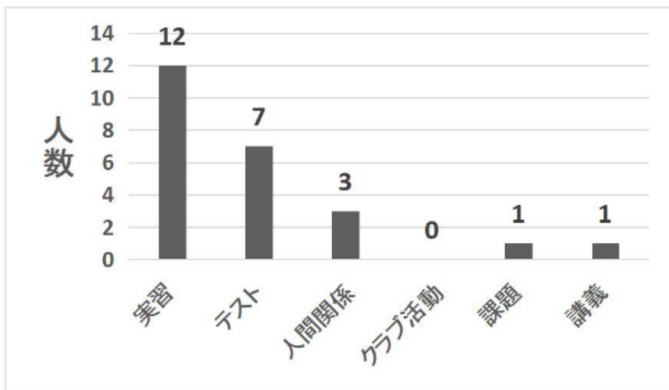


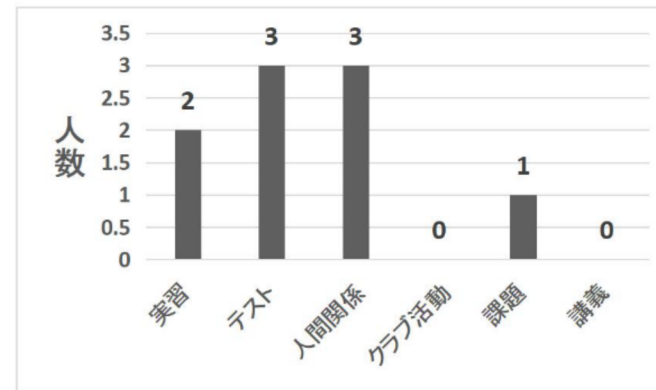
図6

結果③

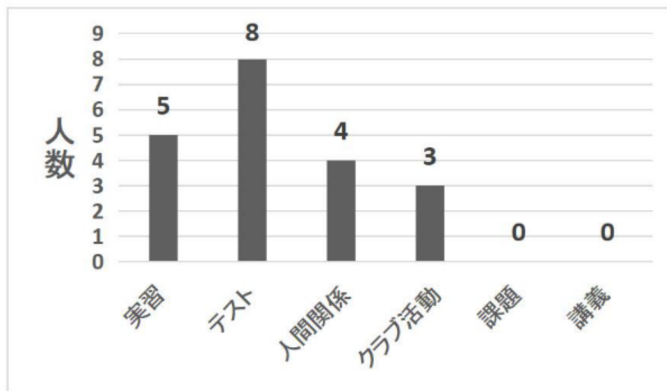
・挫折の自覚ごとに、どこで挫折を感じたのか



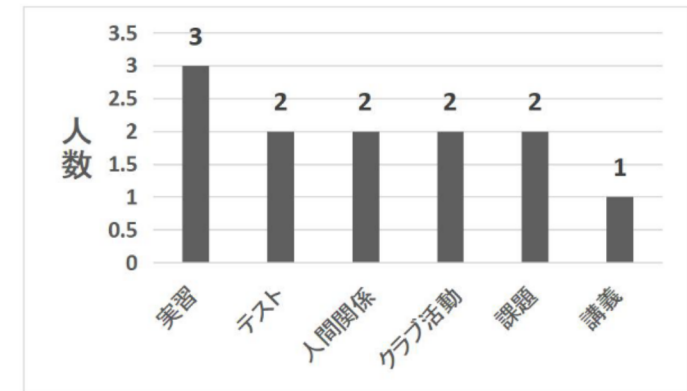
←「自分は看護に向いてないと感じた」と回答した人の挫折場面



←「体調に変化が現れた」と回答した人の挫折場面



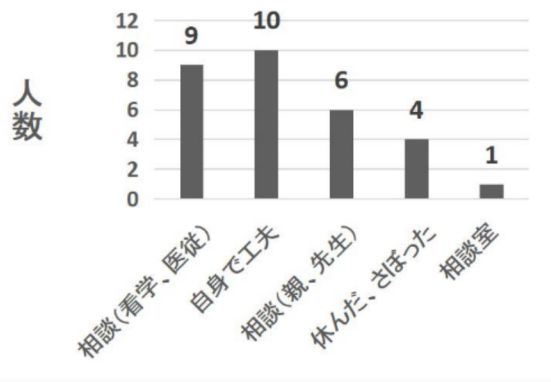
↑「大変だと感じた」と回答した人の挫折場面



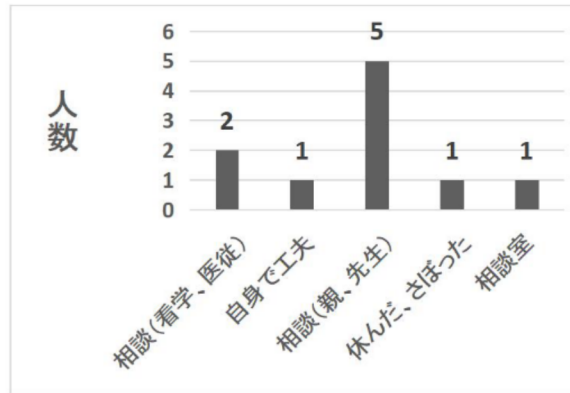
↑「学校に行きたくない」と回答した人の挫折場面

結果④

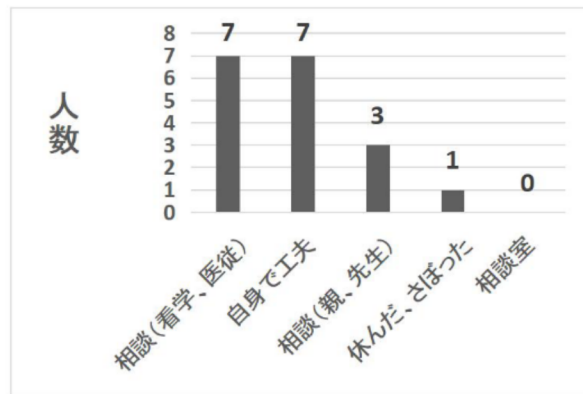
・挫折の自覚ごとに、それぞれの挫折時の解決方法



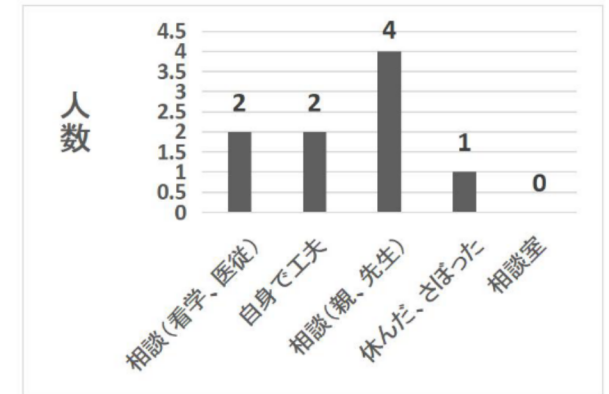
←「自分は看護に向いてないと感じた」と回答した人の挫折時の解決方法



←「体調に変化が現れた」と回答した人の挫折時の解決方法



↑「大変だと感じた」と回答した人の挫折時の解決方法



↑「学校に行きたくない・辞めたい」と回答した人の挫折時の解決方法

考察

・気持ちの切り替えが上手と回答した人のメンタルの強さは、「3」「4」が最多。気持ちの切り替えが下手と回答した人のメンタルの強さは、「2」が最多で半数以上が「1」か「2」。

→気持ちの切り替えの「上手」「下手」はメンタルの強弱に比例している可能性が考えられる

・挫折の要因は実習とテストが多く、同時に「自分は看護に向いていない」と感じる場面でもあった。

→看護学生特有の実際の職場体験によるリアリティショックが将来への不安を抱かせている可能性が考えられる

・いずれの場面においても、誰かに相談するという回答が多い。

→傾聴してもらうことの重要さがうかがえる



結論



- 大学生活での最終学年において本研究では8割以上の人々が挫折を経験しており、実習やテストといった看護学部ならではの場面で挫折した人が多かった。
- 挫折の自覚として自分は看護に向いてないと感じた人が多く、実習を経験することにより将来の看護師像に不安を抱く者が多いことが推測される。
- 解決方法として誰かに相談することが一番多く、また一方で4年生は様々な挫折経験から自身をコントロールする力を持てるようになることが分かった。
- この研究から得られたことが、今後挫折を感じる後輩にとって、なんらかの解決の一役を担うことになると思っている。

参考文献

・尾崎奈央, 石橋正浩. (2019). 挫折経験後の行動の変容に対する挫折経験の評価と対処方略の影響-大学生を対象に-. 大阪教育大学紀要 人文社会科学・自然科学, 67, 37-56.

・北村晴朗. (1983). 挫折経験の意味. 教育と医学. 31, 479-485.

・ベネッセ教育総合研究所. (2007). 学生満足度と大学教育の問題点2007 第4章学生満足度調査の概況.

https://berd.benesse.jp/berd/center/open/report/manzokudo/2007/pdf/data_06.pdf

・森本陽子, 金子祐大, 斎藤すが代, 戸川桂一, 森重恵介, 井上寿美香, ... & 吉村耕一. (2019). 医療福祉系大学生の学業に対するリアリティショックとその対処の現状. 山口県立大学学術情報. 12(20), 115-122.